

第44回神奈川県病院学会 報告

日 時 2025年10月15日(水) 午後1時から午後6時

会 場 ホテル・ザ・ノット ヨコハマ (実地開催のみ)

学会テーマ 「新たな地域医療構想」と病院の将来
～2040年に向けた地域医療（・介護）のこれからを考える～

参 加 者 250名

プログラム

開会の辞 長堀副会長（学術委員長）

学会長挨拶 吉田会長（学会長）

来賓挨拶 神奈川県健康医療局長 足立原 崇
神奈川県医師会長 鈴木 紳一郎

特別講演 「新たな地域医療構想と病院の将来」
九州大学名誉教授 尾形 裕也

シンポジウム 「新たな地域医療構想」と病院現場における現状と取組
座長 県病院協会 副会長 菅 泰博

・シンポジスト発表

「新たな地域医療構想と臨床現場における現状と取り組み
急性期病院の立場から」

平塚共済病院院長 稲瀬 直彦

「新たな地域医療構想と病院現場における現状と取り組み
—包括期、慢性期に関して—」

横浜新緑総合病院理事長兼院長

鶴巻温泉病院名誉院長 鈴木 龍太

「精神科医療と地域医療構想」

港北病院理事長兼院長 山口 哲顕

・意見交換

一般演題 全31演題（口演発表16演題・ポスター発表15演題）

学会長表彰

・一般演題（口演発表）優秀演題（3名）

「医療療養病院における摂食機能療法の取り組みと成果」

高台病院 内田 陽子

「平均寿命日本一 川崎市麻生区を支える麻生総合病院の挑戦

～地域包括医療病棟の導入による医療・経営の質向上～」

麻生総合病院 漆原 義寛

「全入院患者への嚥下評価体制の構築と実践報告

～嚥下センター構想に向けた取り組み～」

港南台病院 伊藤 涼花

・一般演題（ポスター発表）優秀演題（3名）

「これからを見据えた回復期リハビリテーションにおける
理学療法評価フィードバック体制の構築」

横浜鶴見リハビリテーション病院 新井 龍一

「地域に選ばれる通所リハビリテーションを目指して

～利用者の想いと生活に寄り添って～

クローバーヴィラ（クローバーホスピタル） 坂部 尚子

「外科外来における継続看護の取り組み」

横須賀共済病院 原 美鈴

閉会の辞 小澤理事

